

安城市地域福祉計画策定のための市民アンケート調査(案)

～アンケート調査ご協力をお願い～

市民のみなさまには、日ごろから市政に関してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

安城市では、平成 16 年度に「第 1 次 安城市地域福祉計画」を策定し、地域のみなさまが主体となってお互いの助け合いによる福祉のまちづくりをめざし、みんなが進んで参加できる地域活動を進めてきました。その後、既存の取り組みに加え、地域における新たな課題に対する取り組みを進めるため、平成 20 年度に「第 2 次 安城市地域福祉計画」そして、平成 25 年度に「第 3 次 安城市地域福祉計画」を策定しました。

計画策定後、地域を取り巻く社会状況や市民のみなさまの日常生活における課題も変化しており、また、第 3 次計画が期間満了となることに伴い、計画の見直しを進めているところです。

この「市民アンケート調査」は、計画の見直しにあたり、市民のみなさまにご意見をいただき、計画策定のための貴重な資料として使わせていただくために実施するものです。

なお、調査対象は 18 歳以上の市民を対象とし、実際の年齢構成を勘案しつつ 3,000 人の方を無作為に選ばせていただき、実施することにいたしました。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、上記趣旨をご理解の上、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートの調査結果は、すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されたりすることは決してありません。また、アンケート目的以外には使用しませんので、安心して率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

平成 29 年 1 1 月

安城市長 神 谷 学

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、あて名のご本人にお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方と相談していただいても構いません。
- ご回答は、あてはまる番号を、指定の数だけ○で囲んでください。また、記入するものについては、() 内に記入してください。
- 記入がお済みになりましたら、同封の返信用封筒に入れ、1 1 月 ■ ■ 日 (■) までにポストに投函してください。(切手は不要です。)
- このアンケートについてご不明な点やご質問などがございましたら、以下までお問い合わせください。

安城市役所 福祉部 社会福祉課 社会福祉係
電話 7 1 - 2 2 6 2 (直通)

あなた自身やご家族のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(平成29年10月1日現在の満年齢)
(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 18歳から29歳まで | 2. 30歳から39歳まで |
| 3. 40歳から49歳まで | 4. 50歳から59歳まで |
| 5. 60歳から64歳まで | 6. 65歳から69歳まで |
| 7. 70歳から74歳まで | 8. 75歳以上 |

問3 あなたのお仕事についてお答えください。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員・団体職員(常勤) |
| 3. 公務員(常勤) | 4. パート・アルバイト(学生を除く) |
| 5. 派遣従業員 | 6. 家事専業 |
| 7. 無職 | 8. 学生 |
| 9. その他() | |

問4 あなたは結婚していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していたが、離別・死別した |
| 3. 結婚していないがパートナーと暮らしている | 4. 結婚したことがない |

問5 現在のあなたの家族に関する以下の(1)～(3)の事項についてお答えください。

(1) あなたと同居している家族は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つだけ)

●あなた自身を含めた同居家族の人数

人

※あなたお1人だけの場合は、「1」を記入してください。

(2) あなたの世帯では、どのような方が同居されていますか、(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 小学校入学前の子ども | 2. 小学生 |
| 3. 中学生 | 4. 高校生 |
| 5. 大学生・大学院生・専門学校生 | 6. 65～74歳以上の高齢者 |
| 7. 75歳以上の高齢者 | 8. 1～7のような同居人はいない(単身世帯含む) |

(3) あなたの世帯のタイプは次のうちどれに該当しますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らしの世帯 | 2. 夫婦のみの世帯 |
| 3. 二世帯世帯(親と子) | 4. 三世帯世帯(親と子と孫) |
| 5. 兄弟や親戚と同居 | 6. 友人や知人と同居 |
| 7. その他() | |

問6 あなたの世帯全体の年収（年金を含む。税金や社保税金などを引く前の総支給額。）はどのくらいですか。（現在お住まいの世帯でお答えください。）（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100万円以上～200万円未満 |
| 3. 200万円以上～300万円未満 | 4. 300万円以上～500万円未満 |
| 5. 500万円以上～700万円未満 | 6. 700万円以上～1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上 | |

問7 あなたの住まいについてお答えください。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 2. 持ち家（マンションなど集合住宅） |
| 3. 借家・賃貸住宅（一戸建て） | 4. 借家・賃貸住宅（マンションなど集合住宅） |
| 5. 社宅・官舎・寮 | 6. その他（ ） |

問8 あなたは安城市にどのくらいお住まいですか。（○は1つだけ）

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上～3年未満 | 3. 3年以上～5年未満 |
| 4. 5年以上～10年未満 | 5. 10年以上～20年未満 | 6. 20年以上～30年未満 |
| 7. 30年以上 | | |

問9 あなたのお住まいの中学校区をお答えください。（○は1つだけ）

わからない方は、町名を記入してください。

- | | | |
|------------|------------|----------------|
| 1. 安城南中学校区 | 2. 安城北中学校区 | 3. 明祥中学校区 |
| 4. 安城西中学校区 | 5. 桜井中学校区 | 6. 東山中学校区 |
| 7. 安祥中学校区 | 8. 篠目中学校区 | 9. わからない（町名： ） |

福祉に関する意識について

問10 現在のあなたと福祉との主な関わりは次のどれですか。（○は1つだけ）

- | | |
|---|-----------|
| 1. 福祉関係の事業所で仕事をしている | |
| 2. ボランティアまたはNPO（特定非営利活動法人）活動をしている | |
| 3. 地域で福祉活動をしている（町内会の役員や町内福祉員会委員、子ども会等も含む） | |
| 4. 福祉サービスを利用している | |
| 5. 家族の介護等をしている | 6. 関わりはない |
| 7. その他（ ） | |

問11 あなたは福祉に関してどのような情報を知りたいですか。

（あてはまるものすべてに○・ない場合は8に○）

- | | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. 健康づくりについての情報 | 2. 子育てについての情報 |
| 3. 高齢者についてのサービス情報 | 4. 障害者（児）についてのサービス情報 |
| 5. ボランティアやNPOなどの市民活動、企業の社会貢献活動についての情報 | |
| 6. 生きがいづくり（講座、教室、サークル活動など）についての情報 | |
| 7. その他（ ） | |
| 8. 今は特にない | |

あなたの日常生活、将来の暮らしについて

問15 あなたは、地域での付き合い（近所づきあい）をどの程度していますか。

（○は1つだけ）

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. よく付き合っている | 2. ある程度付き合っている | 3. あまり付き合っていない |
| 4. 全く付き合っていない | 5. わからない | |

問16 地域での付き合い（近所づきあい）に満足していますか。（○は1つだけ）

- | | | | | |
|-------|---------|--------------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらともいえない | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|--------------|---------|-------|

問17 地域での付き合い（近所づきあい）は、どの程度が望ましいと思いますか。

（○は1つだけ）

- | |
|---|
| 1. 住民全ての間で困ったときに互いに助け合う |
| 2. 気の合う住民の間で困ったときに助け合う |
| 3. 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民がみんなで行事や催しに参加する |
| 4. 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間で世間話や立ち話をする |
| 5. 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間であいさつを交わす |
| 6. 地域での付き合いは必要ない |
| 7. その他（具体的に： _____） |
| 8. わからない |

問18 あなたは、近所の人から頼みごとをされたり、お手伝いしたりすることがありますか。

（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | → 【問19】へ |
|-------|-------|----------|

問18-1 問18で「1 ある」を選んだ人におたずねします。

①それは、どのような手伝いですか。（あてはまるものすべてに○・ない場合12に○）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 日頃の声かけ・見守り | 2. 話し相手 |
| 3. 買い物 | 4. ゴミ出しや掃除などの家事 |
| 5. 病院・学校などへの送り迎え | 6. 短時間の子どもの預かり |
| 7. 子育ての相談 | 8. 介護の相談 |
| 9. 関係機関の紹介（情報提供） | 10. 災害時などの緊急時の支援 |
| 11. その他（ _____） | |
| 12. 特にない | |

問19 近所の人とは、今後どの程度の付き合いをしていきたいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. もっと付き合いを広げたい | 2. 今のままでよい |
| 3. できるなら付き合いは控えたい | |

問20 毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていますか。

(○は3つまで・ない場合は10に○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 自分や家族の健康に関すること | 2. 子育てに関すること |
| 3. 介護に関すること | 4. 自分や家族の仕事に関すること |
| 5. お金（収入や家計）に関すること | 6. 生きがいや将来に関すること |
| 7. 近所付き合いに関すること | 8. 災害に関すること |
| 9. 地域の治安に関すること | 10. 特にない |
| 11. その他（ | ） |

問21 10年後のあなたご自身やあなたの家族の状況を考えた場合、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことで悩みや不安を感じていると思われるか。

(○は3つまで・ない場合は10に○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 自分や家族の健康に関すること | 2. 子育てに関すること |
| 3. 介護に関すること | 4. 自分や家族の仕事に関すること |
| 5. お金（収入や家計）に関すること | 6. 生きがいや将来に関すること |
| 7. 近所付き合いに関すること | 8. 災害に関すること |
| 9. 地域の治安に関すること | 10. 特にない |
| 11. その他（ | ） |

問22 毎日の暮らしの中で困ったり不安を感じたときに、家族や親族以外では、誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○・不明の場合は14に○）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 2. 町内会の役員 |
| 3. 近所の人 | 4. 知人・友人 |
| 5. 職場の同僚・上司 | 6. 行政（市役所など） |
| 7. 学校や保育所など | 8. 医療機関 |
| 9. 警察 | 10. 社会福祉協議会 |
| 11. 福祉サービス事業所 | 12. ボランティア・NPOなど |
| 13. その他（ | ） |
| 14. どこに相談したらよいかわからない | |

問23 地域で、ひとり暮らし高齢者、介護や病気、子育てなどで困っている世帯があったら、あなたにできることは何ですか。（○は3つまで・ない場合は12に○）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 日頃の声かけ・見守り | 2. 話し相手 |
| 3. 買い物 | 4. ゴミ出しや掃除などの家事 |
| 5. 病院・学校などへの送り迎え | 6. 短時間の子どもの預かり |
| 7. 子育ての相談 | 8. 介護の相談 |
| 9. 関係機関の紹介（情報提供） | 10. 災害時などの緊急時の支援 |
| 11. その他（ | ） |
| 12. 特にない | |

問24 あなた自身やあなたのご家族が、介護や病気、子育てなどで困った時、A欄に示したようなことを、地域の人たちに支援してほしいですか。

(○は3つまで・ない場合は12.に○)

また、A欄で○をつけた事項は、地域のどのような範囲で支援してもらうことがあなたにとって気兼ね等がないですか (B欄に回答)。

A欄: あなた自身やあなたのご家族が、介護や病気、子育てなどで困った時、地域の人たちに支援してほしい事項 (○は3つまで)	※○をつけた項目については、B欄も回答	B欄: 地域のどのような範囲で支援してもらうことがあなたにとって気兼ね等がないか。(下の選択肢から1つ選んでその番号を記入)
1. 日頃の声かけ・見守り	⇒	
2. 話し相手	⇒	
3. 買い物	⇒	
4. ゴミ出しや掃除などの家事	⇒	
5. 病院・学校などへの送り迎え	⇒	
6. 短時間の子どもの預かり	⇒	
7. 子育ての相談	⇒	
8. 介護の相談	⇒	
9. 関係機関の紹介 (情報提供)	⇒	
10. 災害時などの緊急時の支援	⇒	
11. その他 ()	⇒	
12. 特にない		



選択肢	1. 向こう三軒両隣の範囲 2. 町内会の班・組の範囲 3. 町内会の範囲 4. 地区社協 (概ね中学校区) の範囲 5. 安城市域全体の範囲
-----	---

問25 困ったときに頼りになる (悩みを相談したり助けてと言ったりできる) 知人・友人はいますか。お住まいの地域、市内、市外それぞれについてお答えください。

(○はそれぞれ1つ)

(1) お住まいの地域・ご近所

1. いる	2. まあいる	3. どちらとも言えない	4. あまりいない	5. いない
-------	---------	--------------	-----------	--------

(2) 市内

1. いる	2. まあいる	3. どちらとも言えない	4. あまりいない	5. いない
-------	---------	--------------	-----------	--------

(3) 市外

1. いる	2. まあいる	3. どちらとも言えない	4. あまりいない	5. いない
-------	---------	--------------	-----------	--------

	選択肢（※該当する1～6の番号に○印）					
	現在参加している		これまで参加したことがあるが、今はやめている		これまで参加したことはない。	
	今後も続けていきたい	今後はやめたい	今後また関わってみたい	今後も関わるつもりはない	今後は関わってみたい	今後も関わるつもりはない
(カ) 高齢者介護の支援（見守り・サロン活動等）	1	2	3	4	5	6
(キ) 家族介護をしている人への支援	1	2	3	4	5	6
(ク) 健康づくり	1	2	3	4	5	6
(ケ) 生活困窮者に関する事	1	2	3	4	5	6
(コ) 子どもの貧困に関する事	1	2	3	4	5	6
(サ) 若者のひきこもりの問題	1	2	3	4	5	6

問27-2 （問27で2、4、6のいずれかを1つでも○をつけた方のみご回答ください）

●今後どのような条件が整えば、町内会等による地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 時間にゆとりがあること	2. 収入・家計にゆとりがあること
3. 家族の理解があること	4. 自分が健康であること
5. 共に活動する仲間や友人がいること	6. 生きがいや充実感が得られること
7. 趣味や特技が活かされること	8. 誰にでも簡単にできること
9. 家の近くでできること	10. わずかな時間（2～3時間）でできること
11. 活動に必要なお金の支援があること（例えば活動グループに対する助成金など）	
12. ボランティア講座など、知識や技術を学べる機会や体験の機会があること	
13. 活動に必要なきっかけや情報が得られること	
14. その他（ ）	

問28 今後のあなたの暮らしや今後予想される地域社会の状況を踏まえると、今後、どのような地域の福祉活動（町内会等の地域福祉活動やボランティア・NPO等の活動）を充実していくべきと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 防火・防災	2. 防犯・交通安全
3. 子育ての支援や子どもの見守り活動	
4. 福祉施設・医療機関でのボランティア活動	5. 障害者の支援
6. 高齢者介護の支援（見守り・サロン活動等）	7. 家族介護をしている人への支援
8. 健康づくり	
9. 生活困窮者に関する事	10. 子どもの貧困に関する事
11. 若者のひきこもりの問題	12. わからない
13. その他（具体的に ）	

問29 あなたが地域で福祉活動をする場合、どれくらいの対価が得られれば活動したいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 生活ができるくらいの十分な報酬が得られれば活動する
2. 最低賃金程度の報酬が得られれば活動する
3. ワンコイン(500円)程度の報酬が得られれば活動する
4. 野菜やおすそ分け程度の“気持ち”があれば活動する
5. 特に対価は求めない

問30 あなたが地域での福祉活動を依頼する場合、どれくらいの対価であれば依頼したいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 活動者が生活できるくらいの十分な対価を支払ってでも依頼する。
2. 最低賃金程度であれば支払って依頼する
3. ワンコイン(500円)程度であれば支払って依頼する
4. 野菜やおすそ分け程度であれば依頼する
5. 対価の支払いがあるのであれば依頼しない

問31 あなたは、定年退職後などの高齢期を主にどのように過ごしたいとお考えですか。(〇は3つまで) ※既に高齢期を迎えておられる方もご回答ください。

1. 経済的に自立するために、現役同様に働きたい
2. 収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい
3. 趣味や余暇を楽しみたい
4. 知識や教養を高め自分自身の向上に努めたい
5. 地域に貢献できるようなボランティア活動などをしたい
6. 特に何もしないでのんびりと過ごしたい
7. その他()
8. わからない

町内福祉委員会について

◆町内福祉委員会◆

安城市では、町内会を単位として町内福祉委員会という組織が立ち上げられ、住民の皆さんによる福祉活動が進められています。

(活動例)

- ・ふれあいいいききサロン、世代間交流事業の実施
- ・福祉や介護などに関する勉強会などの開催
- ・福祉だよりの発行
- ・要援護者への支援
- ・見守り活動

など

問32 町内福祉委員会についてどの程度ご存知ですか。(○は1つだけ)

- 1. 町内福祉委員会の活動内容を知っている
- 2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない
- 3. 町内福祉委員会について知らない

問 32-1 問 32 で「1 町内福祉委員会の活動内容を知っている」を選んだ人におたずねします。

①町内福祉委員会の活動についてどのぐらいかかわっていますか。(○は1つだけ)

- 1. 積極的に活動している
- 2. 依頼があれば活動している
- 3. 行事などには参加している
- 4. ほとんどかかわっていない

問33 今後、町内福祉委員会による活動に参加する機会があれば、参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

- 1. 参加したい
- 2. できれば参加したい
- 3. 参加したくない
- 4. わからない

問 33-1 問 33 で「3 参加したくない」を選んだ人におたずねします。

①参加したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 興味や関心がないから
- 2. 機会がないから
- 3. 自分の生活で精一杯だから
- 4. 仕事が忙しくて余裕がないから
- 5. やりたい活動がないから
- 6. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから
- 7. 現在の活動内容に不満だから
- 8. 活動の内容や方法がわからないから
- 9. その他 ()

社会福祉協議会、地区社会福祉協議会（地区社協）について

問34 安城市社会福祉協議会をご存知ですか。(○は1つだけ)

- 1. どんな活動をしているか大体知っている
- 2. どんな活動をしているか少し知っている
- 3. 聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない
- 4. まったく知らない

◆社会福祉協議会とは◆

社会福祉法に基づいて地域福祉推進の中核としての役割を担う民間の団体です。各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、全国的な取り組みから地域の特性に応じた活動まで、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

